

第13回 JCHO 若狭高浜病院地域協議会 議事概要

【日 時】 令和 5 年 3 月 7 日(火)(※資料配布日)

【場 所】 書面開催(※新型コロナウイルス感染症対策のため)

【参加者】 四方 啓裕 (福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター 医幹)

的場 均 (高浜町保健福祉課長)

岡 昭彦 (若狭消防組合高浜分署長)

井階 友貴 (小浜市医師会)

河島 浩彦 (高浜町議会議員)

廣瀬 とし子 (高浜町議会議員)

今井 宗雄 (たかはま地域医療サポーターの会)

秋野 裕信 (若狭高浜病院院長)

【議題・概要】

1 若狭高浜病院からの報告事項(令和 3 年度及び令和 4 年度の取り組み状況について)

1) 医師の体制・人員について

・福井県からの自治医科大学卒の医師が派遣中止となったことと、京都医療センターより 1 年期限の専攻医の研修終了により、あわせて 2 名減となったが、嶺南医療振興財団奨学生の常勤医師が 1 名増となった。結果、前年度と比較すると内科の常勤医が 1 名減となった。

・福井県からの派遣中止に対応するため県からの働きかけにより、なごみ診療所から内科医 1 名が週 1 回、外来診療応援に来てもらえることとなった。

2) 新型コロナウイルス感染症対策について

・新型コロナウイルス感染症対策では、令和 2 年 8 月に福井県より新型コロナウイルス感染症重点医療機関の指定を受け、令和 3 年度に引き続き、平成 4 年度様々な新型コロナウイルス感染症への対応を行ってきた。

2) - ① 新型コロナウイルス感染症患者の入院受入

・第 6 波では福井県からの病床確保要請により R4.3.15～R4.5.24 の間 6 床病床確保し、新型コロナウイルス感染症患者 2 名の受入をコロナ病棟(旧 2 階療養病棟)

で行った。

・第 7 波では、看護師の退職などのためコロナ病棟配置の人員確保が困難のため、福井県からの病床確保の要請に対して、新型コロナウイルス感染症患者の受入を中止、発熱外来や時間外救急患者の対応などで地域に貢献することとした。

・第 8 波では、第 7 波同様地域の発熱患者が増加したこともあり、コロナ病棟稼働により、時間外診療を中止することによる地域への影響を考慮し、福井県のフェーズによらず、保健所と協議の上、保健所より要請があった時点で病床確保を行うこととし、結果 R5.1.11～2.22 の間 2 床病床確保を行い、新型コロナウイルス感染症患者 7 名の受入を行った。

2)－② 発熱外来

・第 7・8 波では、地域の感染拡大に伴い発熱外来の受診者も増大した。このためピーク時は、休日の人員配置を増員し対応を行った。また、先に述べた通り新型コロナウイルス感染症患者の受入人数を制限し 3 階病棟で受入ることで、時間外や休日の発熱外来の診療を継続した。

2)－③ 妊婦の PCR 検査

・妊婦に対する PCR 検査は、福井県からの要請により、令和 3 年度に引き続き令和 4 年度も行った。

2)－④ 地域の介護施設への診療協力

・嘱託契約や訪問診療を行っている介護施設において、新型コロナウイルス感染症の患者が発生した場合は、要請を受け、施設に出向いて訪問診療を行い、必要に応じて入院受入を行った。また感染拡大防止のため保健所の指導のもと、施設との WEB 会議に医師、看護師が参加し感染対策に協力した。

2)－⑤ ワクチン接種への人員派遣

・新型コロナウイルスワクチン接種では、高浜町が実施した集団接種会場へ医師延 93 人看護師延 62 人の人員を派遣した。また地域の医療者や介護施設の入所者・職員のワクチン接種を行った。

3)経営状況

・令和 4 年度の経営状況について、令和 5 年 1 月時点で 14,391 千円の黒字を計上している。前年同月 28,477 千円の黒字と比較して収支は悪化しているが、病床確保料などの減少が要因となっている。令和 4 年度計画 10,921 千円(最終 1,010 千円)

の黒字)に対しては計画を上回っている。

4)高浜町・福井大学・若狭高浜病院による地域医療連携

・令和3年6月に高浜町・福井大学・若狭高浜病院による地域医療推進体制構築にかかる協働連携に関する三者協定を締結し、当院に「たかはま地域医療イノベーションセンター」を設置し現在、①医学教育、②医療連携、③健康増進の3つの部会で定期的に検討を行っている。

5)救急医療

・救急車の受入年間件数は、令和2年度は204件とコロナ禍の影響のためか減少していたが、令和3年度237件、令和4年度(R4.4~R5.1)270件とコロナ禍前に戻りつつある。また、依頼があった救急に関しては91.2%の受入が出来ており高い応需率となっている。

6)透析療法

・令和2年6月より週6日稼働することにし、入院患者と外来患者の治療を分けて行うことで、外部からの持ち込みによる感染リスクを下げる対策を行っている。1日当たりの実施人数も1月現在12.7人で令和3年度の12.4人と比較し、微増ではあるが増えている。

7)訪問看護ステーション

・令和4年1月末に訪問看護ステーション担当の看護師2名が退職し、コロナ対応などもあり人員を配置することが困難のため令和4年2月より休止した。しかし4月より福井大学から看護師2名を出向により確保、6月より専任のスタッフを配し、当初はみなし訪問看護から取り組み、12月には訪問看護ステーションを再開した。収支面では現在は赤字となっているが、令和6年度での黒字化を目指し取り組んでいる。

8)病児・病後児保育

・令和3年度の病児・病後児保育の受入件数は年間106件と令和2年度の67件と比較して増加したが、コロナ禍前の令和元年度の147件と比較すると少なくなっている。令和4年度も2月までの実績で63件と低い利用率となっているが、R4.11以降利用者は回復傾向となっている。

9)患者満足度調査結果

・令和4年10月実施

【病院】

・入院「病院全体の満足度」において「満足」及び「やや満足」と回答した者の割合
91.67%(目標87%以上)(前年度81.82%)

・外来「病院全体の満足度」において「満足」及び「やや満足」と回答した者の割合
84.44%(目標87%以上)(前年度86.52%)

【附属介護老人保健施設】

・入所「老健施設全体の満足度」において「満足」及び「やや満足」と回答した者の
割合84.81%(目標92%以上)(前年度91.25%)

・通所「老健施設全体の満足度」において「満足」及び「やや満足」と回答した者の
割合100.%(目標92%以上)(前年度92.68%)

2 委員からのご意見

1)【若狭高浜病院の取組について】

・令和3年6月、高浜町、福井大学、若狭高浜病院、地域医療推進体制構築、協議連携は大切である。現在、具体的に取り組んでいることが分かり易い報告である。以前から医師不足は続いている。福井大学医としっかり連携を取って地域医療体制を充実させてほしい。

・コロナワクチン接種については協力のおかげで迅速に予定していた接種を終えることができた。常勤医師体制は毎年増減の心配があるが、広域等の中で対応してくださいありがとうございます。救急体制、コロナ対応なども含め今後も町民へ安心した医療の提供ができるよう、和田診療所も含め体制の強化を進めていきたいと思います。

・常勤医が減となっておられる中地域医療連携や新型コロナウイルス対応に加え、救急医療の高い応需率に感謝いたします。

・新型コロナウイルス感染症の波が次々と襲ってくるという大変な時期だったにも拘わらず、しっかりと当地域の医療を守って頂いたことに敬意と感謝を申し上げます。

2)【その他ご意見・ご要望等】

・外来の待合室で耳にすることは、予約でも時間が長い、予約の意味が分からない。

【病院からの回答】

・予約にもかかわらず長時間お待たせしたとのこと、お詫び申し上げます。医師によっては予約者が多く、患者様の診療内容や急患などの対応により、予約時間を過ぎてお待ちいただく場合があります。

予約患者や新患を制限することで待ち時間を短縮できますが、そうすると「予約が取れない」、「診察を断られた」などの苦情が発生します。

今後とも待ち時間を短縮しつつ、なるべく多くの患者様を診察できるよう業務の効率化を図りたいと考えていますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

・待合室の椅子が低い、部分的には中くらいの椅子があるが、足の低い患者は低すぎる。

【病院からの回答】

・待合室の椅子が低いとすることで大変ご迷惑をおかけしております。以前にも同様の話があり一部の椅子を入れ替えたところですが、ご意見をお伺い今後、段階的に高い椅子に入れ替えを行っていきたいと考えております。

・高浜中学校での教育イベント(医療現場の理解等)については、今後の人材確保においても大変重要な取り組みとなりますので、引き続き継続実施を望みます。